

2025年度 シラバス(授業内容)

昼間部 1 年
エアライン科 キャビンアテンダントコース
エアポートコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2025年度昼間部1年 エアライン科 キャビンアテンダントコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	4	3	2	3	12
	専門科目	11	19	16	11	57
合計		15	22	18	14	69

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

2025年度入学生 エアライン科 キャビンアテンダントコース 履修科目・単位一覧(前期13週・後期13週)																			
	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期						
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数			
共通科目	キャリアデザインI	演	1	26	キャリアデザインII	演	1	26					ビジネスコミュニケーションII	演	1	26			
	ビジネスコミュニケーションI	演	1	26					デジタルスキルIII	演	1	26	デジタルスキルIV	演	1	26			
	デジタルスキルI	演	1	26	デジタルスキルII	演	1	26	Let's Speak English III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26			
	Let's Speak English I	演	1	26	Let's Speak English II	演	1	26											
	小計				小計				小計				小計						
	4 104				3 78				2 52				3 78						
必修科目 専門科目	TOEIC Advanced対策I	講	2	52	TOEIC Advanced対策II	講	2	52	TOEIC Advanced対策III	講	2	52	TOEIC Advanced対策IV	講	1	26			
	CA講座I	講	1	26	CA講座II	講	1	26	CA講座III	講	1	26	CA講座IV	講	1	26			
	CA実技I	演	1	26	CA実技II	演	1	26	電話応対ベーシックI	演	1	26	電話応対ベーシックII	演	1	26			
	English Communication I	演	1	26	English Communication II	演	1	26	Airline English I	演	1	26	Airline English II	演	1	26			
	美しい日本語話し方講座I	演	1	26	美しい日本語話し方講座II	演	1	26	手話講座I	演	1	26	手話講座II	演	1	26			
	エアライン・サービス論	演	1	26	エアライン・ビジネス論	演	1	26	中国語/韓国語I	講	1	26	中国語/韓国語II	講	1	26			
	ワールドデスティネーションズI	講	1	26	ワールドデスティネーションズII	講	1	26	ワールドデスティネーションズIII	講	1	26							
	アマデウスI	演	1	26	アマデウスII	演	1	26	アマデウスIII	演	1	26							
	エクササイズI	演	1	26	エクササイズII	演	1	26	エクササイズIII	演	1	26							
	身だしなみ講座	演	1	26	エアライン受験対策	演	1	26	社会人準備講座	講	1	26							
					ホスピタリティ	演	1	26	ニュースディスカッション	演	1	26							
									危険物取扱講座	講	1	26							
									ワイン&カクテル入門	講	1	26							
									卒業制作I (CSコンテスト)	演	2	52	卒業制作II (CSコンテスト)	演	2	52			
									Airport Study	演	2	52	企業実習/ボランティア	実	4	120			
									TOEIC Advanced集中講座	講	2	52							
								海外語学留学	演	3	78								
	小計				小計				小計				小計						
	11 286				19 494				16 416				11 302						
計	1年前期 合計				1年後期 合計				2年前期 合計				2年後期 合計						
	15 390				22 572				18 468				14 380						
	1年 合計								2年 合計								2年間 総合計		
15 390								37 962								32 848			
15 390								37 962								69 1,810			
行事・研修	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期						
	オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 選考対策セミナーI・II 中村学園祭				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭						

2025 年度昼間部 1 年 エアライン科 エアポートコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	4	3	2	3	12
	専門科目	11	19	16	11	57
合計		15	22	18	14	69

各期全単位を取得すること。

必修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

2025年度入学生 エアライン科 エアポートコース 履修科目・単位一覧(前期13週・後期13週)																
	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	キャリアデザイン I	演	1	26	キャリアデザイン II	演	1	26					ビジネスコミュニケーション II	演	1	26
	ビジネスコミュニケーション I	演	1	26									デジタルスキル IV	演	1	26
	デジタルスキル I	演	1	26	デジタルスキル II	演	1	26	デジタルスキル III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26
	Let's Speak English I	演	1	26	Let's Speak English II	演	1	26	Let's Speak English III	演	1	26				
	小計		4	104	小計		3	78	小計		2	52	小計		3	78
必修科目	TOEIC対策 I	講	2	52	TOEIC対策 II	講	2	52	TOEIC対策 III	講	2	52	TOEIC対策 IV	講	1	26
	English Communication I	演	1	26	English Communication II	演	1	26	Airline English I (栗田/JIM)	演	1	26	Airline English II	演	1	26
	美しい日本語話し方講座 I	演	1	26	美しい日本語話し方講座 II	演	1	26	手話講座 I (藤田)	演	1	26	手話講座 II	演	1	26
	エアライン・サービス論	演	1	26	エアライン・ビジネス論	演	1	26	中国語/韓国語 I (張/渡部)	講	1	26	中国語/韓国語 II	講	1	26
	ワールドデスティネーションズ I	講	1	26	ワールドデスティネーションズ II	講	1	26	ワールドデスティネーションズ III	講	1	26				
	アマデウス I	演	1	26	アマデウス II	演	1	26	アマデウス III	演	1	26				
	エクササイズ I	演	1	26	エクササイズ II	演	1	26	エクササイズ III	演	1	26				
	身だしなみ講座	演	1	26	エアライン受験対策	演	1	26	社会人準備講座	講	1	26				
	カーゴハンドリング入門	講	1	26	カーゴハンドリング実務	講	1	26	ニュースディスカッション(須田)	演	1	26				
	エアポートハンドリング実務 I	演	1	26	エアポートハンドリング実務 II	演	1	26	危険物取扱講座(JAL)	講	1	26				
					カウンター実技(演)	演	1	26	電話応対ベーシック I (岸田)	演	1	26	電話応対ベーシック II	演	1	26
									空港旅客サービス実務(栗原)	講	1	26				
									貿易実務(栗原)	講	1	26				
					Airport Study	演	2	52	卒業制作 I	演	2	52	卒業制作 II	演	2	52
					TOEIC集中講座	講	1	26					企業実習/ボランティア	実	4	120
				海外語学留学	演	3	78									
小計		11	286	小計		19	494	小計		16	416	小計		11	302	
1年前期 合計		15	390	1年後期 合計		22	572	2年前期 合計		18	468	2年後期 合計		14	380	
1年 合計			37	2年間 総合計			962	2年 合計			32	848				
			69				1,810									

	1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
	行事・研修	オリエンテーション スポーツ大会		就職ガイダンス 選考対策セミナー I・II 中村学園祭		オリエンテーション スポーツ大会		中村学園祭

共通科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	キャリアデザインⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部・夜間部全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：就職室				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	専門学校への入学は、就職を前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身に付け、自己分析・企業研究を行い、内定へ向けたサポートを行います。				
到達目標	1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。 2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みについて知る。 3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。 4、内定を勝ち取るための準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	専門学校生のための就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	1 キャリアデザインとは 「仕事」とは？ 人はなぜ働くのか	1 就職活動スケジュール 求人票の見かた(雇用形態・社会保険・年金制度など)			
	2 キャリアデザインについて① 進路を考えよう（キャリア形成）・専門学生の強みを知る	2 身だしなみについて(就職活動本番の身だしなみ・マナーについて)			
	3 キャリアデザインについて② 企業で求められる人材とは？専門学生の就職活動の流れ	3 履歴書・ESの書き方演習			
	4 自己分析① 就職活動は自己分析から始まる ライフラインチャートを作ろう	4 就職活動における学内ルールについて (求人種別・キャリアサポートセンター利用方法について)			
	5 自己分析② 「これまで何をしてきたか」「今、何をしているか」「これから何をしたいか」を考える	5 自己PR作り方			
	6 自己分析③ 「努力したこと」「自分の性格」を考える	6 会社について知る 企業講演会①			
	7 性格診断 MBTIからみた自身の傾向と向き合う 結果をもとに「長所・短所」を考える	7 志望動機の作り方			
	8 企業研究① 企業研究の進め方 業種・職種を調べる	8 会社について知る 企業講演会②			
	9 企業研究② 先輩の就職先について調べる	9 面接について①(グループディスカッション・面接対策)			
	10 企業研究③ 各企業の特徴について調べる	10 会社について知る 企業講演会③			
	11 企業研究④ 企業の最新動向を把握する	11 面接演習① (本番を想定した面接練習)			
	12 就職活動サイトの登録(マイナビ) 期末試験対策	12 面接演習② (本番を想定した面接練習)			
	13 期末試験返却・解説 前期の振り返り	13 期末試験返却・解説 後期の振り返り			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅠ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース1年生			授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：井部・須田（礼）・橋本（幸）				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	1年次前期の企業実習や後期から始まる就職活動で自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし・必修・ <u>任意</u> 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	1 挨拶の重要性・第一印象の重要性 実践ロールプレイ				
	2 相手に良い印象を与えるコツ 実践ロールプレイ				
	3 自己管理4つのポイント				
	4 社会人としてのルール				
	5 報告・連絡・相談 実践ロールプレイ				
	6 敬語の種類・正しい敬語の使い方				
	7 接遇用語の表現				
	8 接遇の立ち居振る舞い（受付・名刺の受け取り方） 実践ロールプレイ				
	9 ビジネス文書（基本文書体裁とルール、宛名書き） 実践ビジネス文書の作成				
	10 ビジネスメール 実践ビジネスメールの作成				
	11 電話のかけ方 実践ロールプレイ				
	12 電話の受け方と取り次ぎ方 実践ロールプレイ				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキルⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	1年生 全学科			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：宮崎・中島				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word Excelの基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excelを使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USBメモリ 				
授業計画	1	Word 基礎,タイピング等	1	Excel 基礎,等	
	2	Word 基礎,タイピング等	2	Excel 基礎,等	
	3	Word 基礎,タイピング等	3	Excel 基礎,等	
	4	Word 基礎,タイピング等	4	Excel 基礎,等	
	5	Word 基礎,タイピング等	5	Excel 基礎,等	
	6	Word 基礎,タイピング等	6	Excel 基礎,等	
	7	Word 基礎,タイピング等	7	Excel 基礎,等	
	8	Word 基礎,タイピング等	8	Excel 基礎,等	
	9	Word 基礎,タイピング等	9	Excel 基礎,等	
	10	Word 基礎,タイピング等	10	Excel 基礎,等	
	11	Word 基礎,タイピング等	11	Excel 基礎,等	
	12	テスト前予習	12	テスト前予習	
	13	テスト返却,確認	13	テスト返却,確認	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Self-introductions & greetings		1 Asking about family & family members		
	2 Introducing others		2 Describing & comparing personality		
	3 Asking for personal information & repetition		3 Giving & responding to compliments		
	4 Making small talk		4 Talking about clothes		
	5 Review of weeks 1-4		5 Review of weeks 1-4		
	6 Expressing likes & dislikes		6 Talking about routines		
	7 Asking about favourites		7 Asking follow-up questions		
	8 Asking about & telling the time		8 Talking about sequences		
	9 Asking for & giving opinions		9 Talking about ongoing activities		
	10 Review of weeks 6-9		10 Review of weeks 6-9		
	11 Test preparation		11 Test preparation		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

キャビンアテンダントコース

専門科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC Advanced 対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数：4単位	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：52時間 後期：52時間
担当	講師名：印南 留美				
	実務経験：有・無	日系大手航空会社・シンガポール航空にて客室乗務員として従事 Ciel 代表としてエアラインスクール運営 都内大学グローバルコミュニケーション学科 非常勤講師 静岡県の専門学校にてエアライン学科の講師			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC の高スコア取得に必要な解き方のコツを知る。 苦手 Part の克服法を知りスコアアップへ導く。 TOEIC 本番を想定した模試を実施し解き方のタイムスケジュールを体感し本番に備える。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日系客室乗務員の採用基準である TOEIC L/R スコア 600 点以上を取得する。 TOEIC L/R スコア 600 点取得者は 700 以上のスコアを取得する。 				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC L&R テスト 1冊目の教科書 著者：濱崎潤之輔 KADOKAWA TOEIC L&R テスト 本番そのままプラチナボキャブラリー 著者：濱崎潤之輔 Japan Times 出版 適宜配布テキスト対応 				
授業計画	1 Listening: 写真描写問題の概要と練習	1 Listening: 応答問題の戦略と演習			
	2 Listening: 会話問題への取り組み方	2 Listening: 説明文問題の練習			
	3 Reading: 短文穴埋め問題の基礎	3 Reading: 長文穴埋め問題の応用			
	4 Vocabulary: 重要単語リスト復習	4 Grammar: 基本文法の復習			
	5 Reading: 読解問題の短文練習	5 Reading: 読解問題の長文練習			
	6 Listening: 模擬試験での応用演習	6 Listening: 総合問題演習 - 初期段階			
	7 Listening: 応答問題の応用練習	7 Reading: 文法要素の強化			
	8 Reading: 長文読解の精度向上	8 Listening: 説明文問題 - 応用演習			
	9 Vocabulary: TOEIC 重要単語確認	9 Grammar: TOEIC 頻出文法復習			
	10 Listening: 短時間解答練習	10 Reading: 長文解析スキルの強化			
	11 Listening: 模擬試験 1	11 Listening: 模擬試験 2			
	12 Reading: 総合模擬試験演習	12 総復習と前期評価			
	13 Listening: 高度な演習と戦略強化	13 Reading: 応用スキル最終演習			
成績評価方法	毎回の小テスト実施				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	CA 講座 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：湊 さやか				
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：外資系航空会社の客室乗務員としての実務経験あり			
授業概要	<p>将来客室乗務員として働くために必要な航空業界の基礎知識を習得します。 一機の飛行機が安全に飛び立つには、空港で働く様々なスタッフの協力と関わり合いが重要です。 客室乗務員もチームの一員です。前期はチーム内の連携がスムーズにいくために必要となる業界用語、2レター、3レター、旅客の出入国の流れ等を学びます。後期はより客室乗務員に特化した知識の習得となります。サービス要員として行う機内販売で取り扱うブランド商品について学び、各国通貨での支払いの計算方法を習得します。保安要員としては、航空機事故や緊急時の事例を学習することにより、客室乗務員の使命とは何かを理解します。</p>				
到達目標	覚える専門知識は膨大な量ですが、8割以上は暗記していること。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書教材	天声人語書き写しノート（朝日新聞）プリント配布				
授業計画	1. 成田/羽田就航航空会社2レターコード	1. CA 業務の流れ CAの資格と編成			
	2. 成田/羽田就航航空会社2レターコード	2. 機内食の種類とコード			
	3. 出入国手続きの流れ（免税範囲と課税計算）	3. 海外ブランドとその特徴			
	4. 機内持ち込み/受託手荷物（制限と超過料金）	4. 世界の通貨と機内販売での外貨計算			
	5. 業界用語 暗記カルタ	5. 調べ学習「〇〇航空会社の新しい機内サービス」			
	6. 業界用語 暗記カルタ	6. 調べ学習			
	7. E チケット記載内容 シートアサイン	7. 調べ学習			
	8. 日本の空港3レターコード 成田 vs 羽田	8. 発表			
	9. 世界主要都市の空港3レターコード	9. VISAの種類 乗り継ぎにおける出入国と税関			
	10. 世界主要都市の空港3レターコード	10. 危険物 空港のトラブル 機内の迷惑行為			
	11. アライアンスとマイレージ	11. ハイジャック 航空機事故の事例			
	12. 2レターと3レター暗記ゲーム	12. CAの保安業務			
	13. まとめと振り返り	13. まとめと振り返り			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験60%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	CA 実技 I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：印南 留美			
	実務経験：(有)・無	日系大手航空会社・シンガポール航空にて客室乗務員として従事 Ciel 代表としてエアラインスクールを運営 都内大学グローバルコミュニケーション学科 非常勤講師 静岡県の専門学校にてエアライン学科の講師		
授業概要	客室乗務員採用試験に適応できる立ち居振舞い、接遇所作の習得。機内モックアップを使用したロールプレイにて機内サービス業務と保安業務の流れと動作を实践。後期はエアポートサービスコースとの合同授業にて11月の中村学園祭で発表するシミュレーションフライトに向けてチームで動く大切さと重要性を学び体現し目標を達成することでCAとGSの連携を体感する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 客室乗務員採用試験に適応できる立ち居振舞い、接遇所作を習得し体現できるようにする。 客室乗務員採用試験に自信をもって臨めるマインドと自覚の構築。 機内接客に相応しい所作と言葉遣い、機内サービス、機内アナウンス、保安業務を習得する。 			
検定資格	(なし)・必修・任意 名称：			
教科書教材	オリジナルテキスト配布			
授業計画	1 基本的な立居振舞いの基礎	1 シミュレーションフライトの概要確認		
	2 立居振舞い・身だしなみを整える	2 チームごとに役割を決め役割に応じた準備を開始		
	3 ウェルカムアナウンスの読合せ、発声練習	3 各チームで基本的な流れを確認し、通し練習		
	4 アナウンス実践。声のトーンや表現力を確認	4 実際の流れに即して動作を強化する練習		
	5 非常用設備の説明を習得。安全業務の基礎を学ぶ	5 チームごとに通し練習を繰り返し、動作を固める		
	6 実際に非常用設備を使用した動作練習	6 言葉遣い、表情、動作の調整を行う		
	7 機内サービス一連の流れを確認。接客動作を学ぶ	7 ケーススタディを用いて実践的な接客スキルを磨く		
	8 接客の流れをロールプレイ	8 シミュレーションフライト本番を想定したリハ		
	9 到着時のアナウンスの台本を読み合わせ、練習	9 チームごとにリハーサルを繰り返し、本番準備		
	10 到着アナウンスを実践し、自然な表現を習得	10 チームごとにリハーサルを繰り返し、本番準備		
	11 機内業務全体の流れを通し練習	11 シミュレーションフライトの流れを最終確認		
	12 基礎内容を評価する実技テスト	12 シミュレーションフライト実技評価		
	13 前期の学習内容を復習し、フィードバック	13 習内容を振り返り、最終評価		
成績評価方法	授業への参加意欲・実技完成度			
成績評価基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	English Communication I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：		
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.			
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	Stretch Level 1: Student Book with Online Practice (Oxford)			
授業計画	1 Jobs I	1 People we admire I		
	2 Jobs II	2 People we admire II		
	3 Daily activities I	3 At a supermarket I		
	4 Daily activities II	4 At a supermarket II		
	5 At the moment I	5 Health problems I		
	6 At the moment II	6 Health problems II		
	7 Feelings I	7 Cities I		
	8 Feelings II	8 Cities II		
	9 On the weekend I	9 Music I		
	10 On the weekend II	10 Music II		
	11 Downtown I	11 Travel plans I		
	12 Speaking test	12 Speaking test		
	13 Downtown II	13 Travel plans II		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	美しい日本語話し方講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：印南留美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<ul style="list-style-type: none"> ・日系大手航空会社・シンガポール航空にて客室乗務員として従事 ・Ciel 代表としてエアラインスクールを運営 ・株式会社デリ・アート 司会事業部 顧問 ・内閣府ラジオナレーション ・企業向け話し方研修講師 ・ブライダルMC約2,850組 ・企業式典/イベントMC 			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方の基礎を学び、表現する力を養い、話し方のマナー・正しい日本語を身に付ける ・高品質な接客に必要な好印象を与える話し方のスキルを身につける ・航空会社採用試験に必要な伝わる話し方のコツを習得し体現する力を身に付ける 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として自己を表現することの出来る力・会話でのコミュニケーション能力を身に付ける ・自己アピール可能な会話力の養成と好印象を残す接客マナーの体現 ・客室乗務員、地上係員として必要な言葉遣いを学び身に付け採用試験に自信をもって臨める話術の習得。 				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書 教材	オリジナルテキスト配布				
授業計画	1 目的ゴールの理解と現在地の確認で自己を知る。	1 共感的な話し方① アクティブリスニングの実践			
	2 発声・発音の基礎① クリアな声を出す技術	2 共感的な話し方② ～相手の気持ちを動かす話法			
	3 発声・発音の基礎② 言葉を正確に伝える技術	3 印象を左右する言葉遣いのマナー① 基本敬語見直し			
	4 話の構成力を高める ～PREP 法の活用	4 印象を左右する言葉遣いのマナー② 謙譲語トレーニング			
	5 共感を得る話し方① 相手の立場を意識する	5 高品質な「おもてなし」話法① お客様対応の基本			
	6 共感を得る話し方② 感情を動かす話し方	6 高品質な「おもてなし」話法② トラブル対応力向上			
	7 伝える技術① 言葉を置き換える技術	7 話し方の「体現力」を鍛える① 話に「動き」をつける			
	8 伝える技術② 話を端的にする技術	8 話し方の「体現力」を鍛える② 動作と言葉の連動			
	9 表現の幅を広げる ～比喻や具体例を使う技術	9 自己表現力を高める 感情を引き出すスピーチ訓練			
	10 これまでの総復習（プレゼン発表）	10 プレゼンテーション実践 ～面接を意識した発表			
	11 好印象を与える挨拶の技術① 基本の挨拶	11 採用試験を想定した話し方の強化① 質問対応力			
	12 好印象を与える挨拶の技術② 笑顔と声の連動	12 採用試験を想定した話し方の強化② 自己表現力			
	13 基礎力を統合した実演テスト	13 基礎力応用力の統合実演テストとフィードバック			
成績評価 方法	授業内での実演テスト・授業への参加意欲				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 75%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・サービス論		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験：有・無	実務経験内容：		
授業概要	航空会社のサービスの基本である航空機の運航【オペレーション】に関わる業務内容を、顧客と接するサービスを提供する部門の仕事内容と併せて理解する。			
到達目標	① 航空会社の業務についての基礎知識を体得し、業務やサービスの多様性を理解できる。 ② 実務社会でも求められるチームワーク、コミュニケーションの重要性について意識・共感できる ③ 航空産業が求めるグローバル人材とは何かを理解できる。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）			
	2 航空産業の歴史と事業特性（航空機発達の歴史と、航空産業特有の商品・事業特性）			
	3 エアラインの提供するサービスⅠ（保安・安全）			
	4 エアラインの提供するサービスⅡ（定時・快適・利便の追求）			
	5 エアラインの業務Ⅰ（空港サービスⅠ GS）			
	6 エアラインの業務Ⅱ（空港サービスⅡ GH）			
	7 エアラインの業務Ⅲ（航空貨物関連のサービス）			
	8 エアラインの業務Ⅳ（機内サービス）			
	9 エアラインの業務Ⅴ（機内サービスをサポートする部門）			
	10 エアラインの業務Ⅵ（運航支援業務 安全性・定時制・効率性の理解）			
	11 業務のまとめ（連携・チームワークの重要性・必要性の理解）			
	12 エアラインサービスの多様化（LCC と FSC のサービス比較）			
	13 全体のまとめ			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドデスティネーションズⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	講義
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：石松			
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。		
授業概要	概論においては、世界を7エリアに分け、代表的な国・地域の基本情報（首都、主要空港および3レター、通貨、代表的な観光資源）について学ぶ。エリアごとに小テストを実施する。 各論においては、渡航先の更なる情報（地勢、宗教、言語、文化風習、歴史、観光資源その他）について理解を深める。履修内容、順番は、変更される場合がある。授業は観光科と合同で行なわれる。 二年次でワールドデスティネーションズⅢの授業へ続く。			
到達目標	緯度・経度およびそれに関連する事項について理解し、考察できる。 世界のエリア、主要な国や地域、都市を地図上で把握できる。 渡航先の特徴について理解できる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） 海外旅行地理プラクティカル（JTB 総合研究所） 世界白地図（JTB 総合研究所） 適宜プリント使用			
授業計画	1 授業ガイダンス、地図に慣れる	1 概論：北米		
	2 投影法、緯度、経度、大陸、エリア	2 概論：中南米、小テスト		
	3 概論：エリア別に基礎を学ぶ・東アジア1	3 概論：オセアニア1		
	4 概論：東アジア2、小テスト	4 概論：オセアニア2、小テスト		
	5 概論：東南アジア1、小テスト	5 各論：韓国、台湾		
	6 概論：東南アジア2、南アジア	6 各論：香港・マカオ、中華人民共和国		
	7 概論：南アジア、中東1	7 各論：東アジアの補足		
	8 概論：中東2、小テスト	8 各論：タイ、ベトナム、カンボジア		
	9 概論：ヨーロッパ1	9 各論：シンガポール、インドネシア		
	10 概論：ヨーロッパ2、小テスト	10 各論：インド、ネパール、その他		
	11 概論：ヨーロッパ3、小テスト	11 各論：トルコ		
	12 前期まとめ	12 後期まとめ		
	13 定期試験返却と解説、概論：ヨーロッパ4	13 定期試験返却と解説		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、および出席率80%以上、および平常点 優 B：評価試験60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良 C：評価試験40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可 D：評価試験40%未満、または出席率60%未満、または平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	アマデウス I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：栞原 和希				
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	アマデウスはGDS（Global Distribution System）として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。				
到達目標	① アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ② アマデウスシステム検定試験 Amadeus Reservation Fundamentals 資格の取得。				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称：				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド（最新版） アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	1	オリエンテーション（システム概要）	1 前期振り返り		
	2	各種コード検索 ①空港・都市（3レター）	2 PNR 作成 応用① CHL・INF 入力		
	3	各種コード検索 ②航空会社（2レター）	3 PNR 作成 応用② ARNK セグメント		
	4	検索コード 小テスト	4 PNR 作成 応用③ SSR 入力		
	5	空席照会 基礎（往路・往復路）	5 PNR 作成 小テスト		
	6	空席照会 応用① 航空会社・座席指定	6 タイムスケジュール エントリ・読み取り		
	7	空席照会 応用② 乗り継ぎ・アライアンス	7 ショートカットエントリ ①日付変更		
	8	座席予約 予約方法（往路・往復）	8 ショートカットエントリ ②		
	9	空席照会 小テスト	9 ショートカットエントリ ③取り消し・修正		
	10	PNR 作成 基礎① 旅客入力（へボン式）	10 ショートカットエントリ 小テスト		
	11	PNR 作成 基礎② 連絡先入力	11 振り返り問題		
	12	PNR 作成 基礎③ PNR 完了	12 過去問練習・解説①		
	13	前期振り返り	13 過去問練習・解説②		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科1年 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	1年 単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：北原 大輔			
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	1 自己紹介、授業説明	1 体力測定		
	2 体力測定	2 コーディネーショントレーニング		
	3 体力測定2	3 バランストレーニング		
	4 コーディネーショントレーニング	4 筋トレ（上半身）		
	5 バランストレーニング	5 筋トレ（下半身）		
	6 心拍数、運動強度講習	6 腹筋		
	7 ウォーキング	7 ウォーキング		
	8 ランニング	8 ランニング		
	9 筋トレ（上半身）	9 筋トレ（上半身）音に合わせて		
	10 筋トレ（下半身）	10 筋トレ（下半身）音に合わせて		
	11 ボクササイズ	11 キックボクササイズ		
	12 球技	12 球技		
	13 測定テスト	13 測定テスト		
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A：授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B：授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C：授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D：授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	身だしなみ講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	秋元幸子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：エアライン業界・美容業界にて実務経験あり		
授業概要	身だしなみと自身の美しさを最大に引き出すメイクアップ理論と技術を基本から学びます。更に、長時間の撮影にも崩れず美しさをキープする女優メイクのプロ技術を修得することにより今の自分の最高を求める。			
到達目標	基本のメイクアップ理論と技術の取得で、自身の美しさを引き出し、自信をもってリクルートメイクとヘアを完成できる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 身だしなみ 基本1			
	2 身だしなみ 基本2			
	3 身だしなみ 実習			
	4 メイクアップ 基本1 メイクアップの目的			
	5 リクルート入門と実習			
	6 メイクアップ理論ベースメイクアップ技術とポイント			
	7 メイクアップ基本2 実習			
	8 リクルートメイクアップ実習			
	9 リクルートヘアメイクアップ完成 美しい写真の撮られ方実習			
	10 マナー5原則1			
	11 マナー5原則2			
	12 身だしなみと社会で使えるポジティブな言葉遣い			
	13 身だしなみ・リクルートヘアメイク発表			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・ビジネス論		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験：有・無	実務経験内容：		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・航空産業の歴史を学び、どのような変化を遂げ現在の航空業界に至ったのかを理解する。 ・航空産業に関わる企業の戦略や商品、人材確保・育成について、日々のニュースから学ぶ。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 航空産業の変化の理解と、今後の戦略を発送できる。 ② 商品（プロダクト）とは何かを理解する。（CA・GS・GH） ③ 学んだ内容について、自身の考えを発表する。 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）			
	2 航空産業の事業特性（航空産業に特有な商品特性）			
	3 航空の自由化と規制緩和の流れ（国際航空体制の確立）			
	4 航空の安全と保安（安全の概念と理解/企業の取り組み）			
	5 顧客満足（CS と ES）			
	6 航空産業のグローバル人材マネジメント戦略（人材の養成、少子高齢化への対応）			
	7 貨物関連のサービス（保税倉庫/輸出入）			
	8 前半の振り返り（個々の考えや意見を発表）			
	9 企業戦略Ⅰ（エアラインの商品/各企業の特徴） ニューストピック			
	10 企業戦略Ⅱ（LCC と FSC/ブランド商品開発） ニューストピック			
	11 企業戦略Ⅲ（航空の環境変化と今後の課題） ニューストピック			
	12 航空産業の課題と将来展望			
	13 全体の振り返りと将来展望の発表			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン受験対策		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：須田 礼美			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：成田空港内VIP専用ラウンジ勤務・外資系航空会社客室乗務員		
授業概要	航空業界への就職に向け、その採用試験に必要な知識とスキルを体系的に学びます。 客室乗務員・地上職員・空港職員などの採用プロセスを理解し、具体的に対策していきます。			
到達目標	就職活動の軸となる「自己分析」と「企業研究」の重要性を理解し各自が適時進められるようになる。 人から見られる事や緊張することに慣れ、面接試験本番においてより適切な第一印象を残せるようになる。			
検定資格	なし・必修・〇任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 オリエンテーションと就職活動の基礎			
	2 自己分析（1） テクニカルスキルとアビリティ			
	3 自己分析（2） キャリアゴールの設定			
	4 履歴書とエントリーシートの基本			
	5 第一印象の重要性（1） メラビアンの法則			
	6 第一印象の重要性（2） 自己紹介を自己PRにアップグレード			
	7 業界研究 グループワーク（情報収集・同業他社との比較・プレゼンテーション）			
	8 志望企業の分析 「企業理念・ビジョン」と「自身の価値観」を結びつける			
	9 演習：面接対策（1） 面接の流れと基本的な質問への答え方（STARメソッド）			
	10 演習：面接対策（2） グループディスカッション（自分の役割を見つける）			
	11 演習：面接対策（3） ペアワーク（フラッシュカードで質疑応答練習）			
	12 演習：面接対策（4） 個人面接とフィードバック			
	13 演習：面接対策（5） 個人面接とフィードバック			
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 A B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 B C：評価試験70%以上、出席率60%以上、平常点 C D：評価試験70%未満、出席率60%未満、平常点 D			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ホスピタリティ		科目区分	専門科目
対象	昼間部 観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科 全コース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：黒坂 明子			
	実務経験：☑・無	客室乗務員		
授業概要	ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え相手を慮る心」です。ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を感じよく表現できる人材の育成を目的とします。心理学の知見を応用し行動変容の重要性を学び、自己肯定感を高めることからスタートします。様々なワークを通し、おもてなしの実例に触れながら共に考え、ITHの教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。			
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りからみられている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にすることができるようになる			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック (ホロス人材開発研究所・高畑吉宏)			
授業計画	1 オリエンテーション・・・ホスピタリティとは・定義とゴールの確認、自分自身のフィードバック			
	2 ホスピタリティマインドの理解・・・ホスピタリティマインドとおもてなしの心			
	3 自己理解・自己受容・・・まずは自分を知ろう 心理学による自己分析			
	4 自己理解・自己受容・・・人との関わり方において強み弱みに気づき、自己改善に繋げる			
	5 ホスピタリティの確立・・・自己肯定感を高める プラス思考とプラスの視点			
	6 他者理解・他者受容・・・価値観とは グループ討議			
	7 他者理解・他者受容・・・自分や他者のものの見方や考え方の違いを知る			
	8 ホスピタリティの発揮・・・印象ゲーム 他者目線からの自分のイメージを知る			
	9 ホスピタリティの発揮・・・自画像と他画像の違い 第一印象の重要性 心の4つの窓			
	10 豊かな触れ合い・・・ストロークとは 心の栄養物			
	11 豊かな触れ合い・・・人との交流に欠かせないプラスのストローク			
	12 ホスピタリティサービスの本質・・・モノ的なサービスとヒト的なサービス CSとお客様の心理			
	13 ホスピタリティ企業のおもてなしから・・・「おもてなしの心」を「形」に・・・			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 A B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 B C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 C D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 D			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Airport Study		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期：2 単位	時間数
担当	各企業ご担当者様			
	実務経験：(有)・無	エアライン企業現役社員が担当		
授業概要	成田国際空港と羽田空港を実際に訪れ、航空関連企業様を見学させていただき、業務内容や現場を知る。成田国際空港と羽田空港でご活躍されている企業様より直接講義、説明、施設見学をしていただくことで、航空業界の現状を直に学ぶ。			
到達目標	航空業界の現状を直に学び、就職活動への意識向上を図る。			
検定資格	なし・必修・〇任意 名称：			
教科書教材	なし			
授業計画	成田国際空港企業訪問①			
	・企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	成田国際空港企業訪問②			
	1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	羽田空港企業訪問①			
	1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	羽田空港企業訪問②			
	・企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	羽田空港企業訪問③			
	1 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	2 社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率 100%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC Advanced 集中講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース		授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	講師名：印南 留美			
	実務経験：有・無	日系大手航空会社・シンガポール航空にて客室乗務員として従事 Ciel 代表としてエアラインスクール運営 都内大学グローバルコミュニケーション学科 非常勤講師 静岡県の専門学校にてエアライン学科の講師		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC テスト本番でスコアアップできる解き方を身に付ける。 基礎力養成と戦略構築、応用力強化と試験対策 TOEIC 本番を想定した模試を実施し本番のタイムスケジュールを体感し本番に備える。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日系客室乗務員の採用基準である TOEIC L/R スコア 600 点以上を取得する。 TOEIC L/R スコア 600 点取得者は 700 以上のスコアを取得する。 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書教材	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル適宜配布テキスト対応 TOEIC L&R テスト 壁越え模試リスニング 濱崎潤之輔・大里秀介 メディアビーコン（コピー配布） TOEIC L&R テスト 壁越え模試リーディング濱崎潤之輔・大里秀介 メディアビーコン（コピー配布） 			
授業計画	1	リスニング・リーディングの全体像	1	700 点突破戦略学習状況の振り返り
	2	写真問題の解き方と高頻出パターン	2	複数スピーカーの問題に対応する練習
	3	選択肢分析と正解の見極め方	3	複数文書を素早く読むテクニック
	4	会話内容の理解と質問に迅速に答える方法	4	時制、関係詞、仮定法などの重点復習
	5	時制、主語と動詞の一致、語彙問題の対策	5	ネイティブ・非ネイティブ英語の違いに対応
	6	文脈を意識した空所補充の練習	6	トリプルパッセージ・情報検索力の向上
	7	表付きの問題の解き方	7	グラフや表のリスニング問題の解き方
	8	スキミングとスキミングの技術	8	短文と長文の混合実践演習
	9	リスニング全体を通じた基礎力確認	9	L&R 制限時間内に全問解く練習
	10	時間を意識した実践問題演習	10	リーディング中心の模擬試験と解説
	11	TOEIC 頻出語彙や熟語を重点的に学習	11	頻出問題の総復習高得点へのポイントの確認
	12	パート 1～4 の模擬試験と解説	12	リスニング・リーディングを通じた総合演習
	13	各セクションの弱点を補強	13	テスト結果をもとに個別FB と最終アドバイス
成績評価方法	毎回の小テスト実施			
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	海外語学留学			科目区分	専門科目	
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース			授業形式	演習	
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 3単位	時間数	後期 : 78時間	
担当	各企業ご担当者様					
	実務経験 : (有) ・ 無					
授業概要	①語学学校で General English コースを受講する。(レベル別) ②海外生活を経験しながら英語コミュニケーションスキルを磨き、異文化を理解する。 ③6月に受験する第1回目の TOEIC から、9月受験の第2回目に向けてスコアアップを目指す。					
到達目標	①完璧な英語でなくても、積極的にコミュニケーションをとることが出来る。 ②異文化に対してオープンマインドである。 ③TOEIC を 100 点以上スコアアップさせる。					
検定資格	なし・ 必修 ・ ○任意 名称 :					
教科書 教材	現地語学学校指定教材					
授業計画	Level 1-9 Beginner English to University Proficient English Beginner to High-Intermediate students start with General English before moving on to more advanced courses. Through the Cambridge Communicative Method, students develop all 4 language skills (speaking, listening, reading and writing).					
		Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	8:30-11:10	Principal Course				
	Break 30 minutes					
	11:40-13:00	Principal Course	Elective Course	Principal Course	Elective Course	Principal Course
	Break 20 minutes					
	13:20-14:40	Power English	Power English	Power English	Power English	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく					
成績評価 基準	A : 評価試験 (理解度) 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B : 評価試験 (理解度) 70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C : 評価試験 (理解度) 60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D : 評価試験 (理解度) 60%未満、出席率 60%未満、平常点不可					

エアポートコース

専門科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 対策 I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：4単位	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：52時間 後期：52時間
担当	講師名：日隈 敬子				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ノースウエスト航空機内通訳、日本航空 LAX グランドスタッフ			
授業概要	このクラスでは今まで習ってきた英語を復習し、TOEIC のための攻略法を身につけていきます。しっかりとした目標を持ち、それに向かって努力すれば結果は必ずついてきます。TOEIC の問題に慣れ、目標点が取れるよう頑張りましょう！				
到達目標	TOEIC のテスト形式や出題内容に慣れる。 TOEIC の解答方法を身に付ける。				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称：TOEIC				
教科書教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリル「スコア 500 全パート入門編」新形式問題対応（桐原書店）				
授業計画	1	TOEIC について、品詞とは、リスニング Part 1	1	受動態と能動態、リスニング Part 3	
	2	品詞の確認、リスニング Part 1	2	時制の復習、リスニング Part 2	
	3	動詞、リスニング Part 2	3	受動態と能動態、リスニング Part 3	
	4	動詞、リスニング Part 2	4	過去分詞と現在分詞 リスニング Part 4	
	5	リーディング Part 5、リスニング Part 3	5	リーディング Part 7 シングルパッセージ	
	6	リーディング Part 5,6、リスニング Part 3	6	リーディング Part 7 ダブルパッセージ	
	7	リーディング Part 7、リスニング Part 4	7	リーディング Part 7 トリプルパッセージ	
	8	リーディング Part 7、リスニング Part 4	8	文法の復習、リスニング Part 4	
	9	TOEIC 模試 & 答え合わせ	9	TOEIC 模試 & 答え合わせ	
	10	代名詞、関係代名詞	10	1年の復習☆リスニング	
	11	前置詞、接続詞	11	1年の復習☆文法	
	12	リーディング Part 7 ダブルパッセージ	12	1年の復習☆疑問文の理解と答え方	
	13	リーディング Part 7 トリプルパッセージ	13	1年の復習☆単語とフレーズ	
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	English Communication I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース、エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：		
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.			
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	Stretch Level 1: Student Book with Online Practice (Oxford)			
授業計画	1 Jobs I	1 People we admire I		
	2 Jobs II	2 People we admire II		
	3 Daily activities I	3 At a supermarket I		
	4 Daily activities II	4 At a supermarket II		
	5 At the moment I	5 Health problems I		
	6 At the moment II	6 Health problems II		
	7 Feelings I	7 Cities I		
	8 Feelings II	8 Cities II		
	9 On the weekend I	9 Music I		
	10 On the weekend II	10 Music II		
	11 Downtown I	11 Travel plans I		
	12 Speaking test	12 Speaking test		
	13 Downtown II	13 Travel plans II		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	美しい日本語話し方講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：印南留美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<ul style="list-style-type: none"> ・日系大手航空会社・シンガポール航空にて客室乗務員として従事 ・Ciel 代表としてエアラインスクールを運営 ・株式会社デリ・アート 司会事業部 顧問 ・内閣府ラジオナレーション ・企業向け話し方研修講師 ・ブライダルMC約2,850組 ・企業式典/イベントMC 			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方の基礎を学び、表現する力を養い、話し方のマナー・正しい日本語を身に付ける ・高品質な接客に必要な好印象を与える話し方のスキルを身につける ・航空会社採用試験に必要な伝わる話し方のコツを習得し体現する力を身に付ける 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として自己を表現することの出来る力・会話でのコミュニケーション能力を身に付ける ・自己アピール可能な会話力の養成と好印象を残す接客マナーの体現 ・客室乗務員、地上係員として必要な言葉遣いを学び身に付け採用試験に自信をもって臨める話術の習得。 				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書 教材	オリジナルテキスト配布				
授業計画	1 目的ゴールの理解と現在地の確認で自己を知る。	1 共感的な話し方① アクティブリスニングの実践			
	2 発声・発音の基礎① クリアな声を出す技術	2 共感的な話し方② ～相手の気持ちを動かす話法			
	3 発声・発音の基礎② 言葉を正確に伝える技術	3 印象を左右する言葉遣いのマナー① 基本敬語見直し			
	4 話の構成力を高める ～PREP 法の活用	4 印象を左右する言葉遣いのマナー② 謙譲語トレーニング			
	5 共感を得る話し方① 相手の立場を意識する	5 高品質な「おもてなし」話法① お客様対応の基本			
	6 共感を得る話し方② 感情を動かす話し方	6 高品質な「おもてなし」話法② トラブル対応力向上			
	7 伝える技術① 言葉を置き換える技術	7 話し方の「体現力」を鍛える① 話に「動き」をつける			
	8 伝える技術② 話を端的にする技術	8 話し方の「体現力」を鍛える② 動作と言葉の連動			
	9 表現の幅を広げる ～比喻や具体例を使う技術	9 自己表現力を高める 感情を引き出すスピーチ訓練			
	10 これまでの総復習（プレゼン発表）	10 プレゼンテーション実践 ～面接を意識した発表			
	11 好印象を与える挨拶の技術① 基本の挨拶	11 採用試験を想定した話し方の強化① 質問対応力			
	12 好印象を与える挨拶の技術② 笑顔と声の連動	12 採用試験を想定した話し方の強化② 自己表現力			
	13 基礎力を統合した実演テスト	13 基礎力応用力の統合実演テストとフィードバック			
成績評価 方法	授業内での実演テスト・授業への参加意欲				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 75%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・サービス論		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験：有・無	実務経験内容：		
授業概要	航空会社のサービスの基本である航空機の運航【オペレーション】に関わる業務内容を、顧客と接するサービスを提供する部門の仕事内容と併せて理解する。			
到達目標	① 航空会社の業務についての基礎知識を体得し、業務やサービスの多様性を理解できる。 ② 実務社会でも求められるチームワーク、コミュニケーションの重要性について意識・共感できる ③ 航空産業が求めるグローバル人材とは何かを理解できる。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）			
	2 航空産業の歴史と事業特性（航空機発達の歴史と、航空産業特有の商品・事業特性）			
	3 エアラインの提供するサービスⅠ（保安・安全）			
	4 エアラインの提供するサービスⅡ（定時・快適・利便の追求）			
	5 エアラインの業務Ⅰ（空港サービスⅠ GS）			
	6 エアラインの業務Ⅱ（空港サービスⅡ GH）			
	7 エアラインの業務Ⅲ（航空貨物関連のサービス）			
	8 エアラインの業務Ⅳ（機内サービス）			
	9 エアラインの業務Ⅴ（機内サービスをサポートする部門）			
	10 エアラインの業務Ⅵ（運航支援業務 安全性・定時制・効率性の理解）			
	11 業務のまとめ（連携・チームワークの重要性・必要性の理解）			
	12 エアラインサービスの多様化（LCC と FSC のサービス比較）			
	13 全体のまとめ			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドデスティネーションズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：石松				
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。			
授業概要	概論においては、世界を7エリアに分け、代表的な国・地域の基本情報（首都、主要空港および3レター、通貨、代表的な観光資源）について学ぶ。エリアごとに小テストを実施する。 各論においては、渡航先の更なる情報（地勢、宗教、言語、文化風習、歴史、観光資源その他）について理解を深める。履修内容、順番は、変更される場合がある。授業は観光科と合同で行なわれる。 二年次でワールドデスティネーションズⅢの授業へ続く。				
到達目標	緯度・経度およびそれに関連する事項について理解し、考察できる。 世界のエリア、主要な国や地域、都市を地図上で把握できる。 渡航先の特徴について理解できる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） 海外旅行地理プラクティカル（JTB総合研究所） 世界白地図（JTB総合研究所） 適宜プリント使用				
授業計画	1 授業ガイダンス、地図に慣れる	1 概論：北米			
	2 投影法、緯度、経度、大陸、エリア	2 概論：中南米、小テスト			
	3 概論：エリア別に基礎を学ぶ・東アジア1	3 概論：オセアニア1			
	4 概論：東アジア2、小テスト	4 概論：オセアニア2、小テスト			
	5 概論：東南アジア1、小テスト	5 各論：韓国、台湾			
	6 概論：東南アジア2、南アジア	6 各論：香港・マカオ、中華人民共和国			
	7 概論：南アジア、中東1	7 各論：東アジアの補足			
	8 概論：中東2、小テスト	8 各論：タイ、ベトナム、カンボジア			
	9 概論：ヨーロッパ1	9 各論：シンガポール、インドネシア			
	10 概論：ヨーロッパ2、小テスト	10 各論：インド、ネパール、その他			
	11 概論：ヨーロッパ3、小テスト	11 各論：トルコ			
	12 前期まとめ	12 後期まとめ			
	13 定期試験返却と解説、概論：ヨーロッパ4	13 定期試験返却と解説			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、および出席率80%以上、および平常点 優。 B：評価試験60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良 C：評価試験40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可 D：評価試験40%未満、または出席率60%未満、または平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	アマデウス I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：栞原 和希				
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	アマデウスはGDS（Global Distribution System）として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどを手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目指します。				
到達目標	① アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 ② アマデウスシステム検定試験 Amadeus Reservation Fundamentals 資格の取得。				
検定資格	なし・ <input type="checkbox"/> 必修・任意 名称：				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド（最新版） アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	1	オリエンテーション（システム概要）	1	前期振り返り	
	2	各種コード検索 ①空港・都市（3レター）	2	PNR作成 応用① CHL・INF入力	
	3	各種コード検索 ②航空会社（2レター）	3	PNR作成 応用② ARNKセグメント	
	4	検索コード 小テスト	4	PNR作成 応用③ SSR入力	
	5	空席照会 基礎（往路・往復路）	5	PNR作成 小テスト	
	6	空席照会 応用① 航空会社・座席指定	6	タイムスケジュール エントリ・読み取り	
	7	空席照会 応用② 乗り継ぎ・アライアンス	7	ショートカットエントリ ①日付変更	
	8	座席予約 予約方法（往路・往復）	8	ショートカットエントリ ②	
	9	空席照会 小テスト	9	ショートカットエントリ ③取り消し・修正	
	10	PNR作成 基礎① 旅客入力（へボン式）	10	ショートカットエントリ 小テスト	
	11	PNR作成 基礎② 連絡先入力	11	振り返り問題	
	12	PNR作成 基礎③ PNR完了	12	過去問練習・解説①	
	13	前期振り返り	13	過去問練習・解説②	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：北原 大輔			
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	1 自己紹介、授業説明	1 体力測定		
	2 体力測定	2 コーディネーショントレーニング		
	3 体力測定2	3 バランストレーニング		
	4 コーディネーショントレーニング	4 筋トレ（上半身）		
	5 バランストレーニング	5 筋トレ（下半身）		
	6 心拍数、運動強度講習	6 腹筋		
	7 ウォーキング	7 ウォーキング		
	8 ランニング	8 ランニング		
	9 筋トレ（上半身）	9 筋トレ（上半身）音に合わせて		
	10 筋トレ（下半身）	10 筋トレ（下半身）音に合わせて		
	11 ボクササイズ	11 キックボクササイズ		
	12 球技	12 球技		
	13 測定テスト	13 測定テスト		
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A：授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B：授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C：授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D：授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	身だしなみ講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	秋元 幸子			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：エアライン業界・美容業界にて実務経験あり		
授業概要	身だしなみと自身の美しさを最大に引き出すメイクアップ理論と技術を基本から学びます。更に、長時間の撮影にも崩れず美しさをキープする女優メイクのプロ技術を修得することにより今の自分の最高を求める。			
到達目標	基本のメイクアップ理論と技術の取得で、自身の美しさを引き出し、自信をもってリクルートメイクとヘアを完成できる。			
検定資格	(なし)・必修・任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 身だしなみ 基本1			
	2 身だしなみ 基本2			
	3 身だしなみ 実習			
	4 メイクアップ 基本1 メイクアップの目的			
	5 リクルート入門と実習			
	6 メイクアップ理論ベースメイクアップ技術とポイント			
	7 メイクアップ基本2 実習			
	8 リクルートメイクアップ実習			
	9 リクルートヘアメイクアップ完成 美しい写真の撮られ方実習			
	10 マナー5原則1			
	11 マナー5原則2			
	12 身だしなみと社会で使えるポジティブな言葉遣い			
	13 身だしなみ・リクルートヘアメイク発表			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	カーゴハンドリング入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：逢坂 理恵				
	実務経験：有・無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出・輸入業務ならびに教育担当の実務経験あり。Diploma 基礎、危険物教育インストラクターの資格あり。			
授業概要	私たちの身の回りで使用する日用品をはじめ、自動車、動物、精密機械など、あらゆる貨物が航空機で運ばれています。この講座では、航空貨物に関する仕事について詳しく学ぶとともに、航空機の構造や歴史、航空輸送の仕組み、航空貨物の基礎について幅広く学んでいきます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 航空貨物の種類や流れ、航空輸送の必要性や役割を理解する。 航空業界に携わる上での安全意識を醸成する。 				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	講師作成教材				
授業計画	1. オリエンテーション、今般の社会情勢における物流の重要性				
	2. 航空貨物の種類と特徴				
	3. 特殊貨物、航空貨物の流れ				
	4. 航空貨物に関わる仕事				
	5. 航空機の構造と貨物室				
	6. Air Waybill について				
	7. 輸出業務				
	8. 輸出業務（続き）				
	9. 生鮮貨物輸送				
	10. 輸入業務、郵便物				
	11. まとめ、復習				
	12. 試験対策問題				
	13. 試験返却、フィードバック				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 59%以下、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エアポートハンドリング実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：松井 哲至				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：空港ハンドリング全般（グラウンドハンドリング・カーゴ等）			
授業概要	普段は現場の最前線で仕事をしている社員が講師として皆さんに授業をしますので楽しみにして下さい。直接聞いてみたいことがあれば遠慮はいりません。事前に質問事項をまとめておくようお願いします。				
到達目標	グラウンドハンドリング・グラウンドスタッフの業務内容、専門用語を理解する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書教材	プロジェクターを使用してのパワーポイントのスライドが中心また空港での実地授業				
授業計画	1 エアポートハンドリングⅠ				1 エアポートハンドリングⅡ
	2 グラウンドスタッフ導入Ⅰ				2 グラウンドスタッフ導入Ⅱ
	3 手荷物ハンドリング（出発）				3 手荷物ハンドリングⅡ（出発）
	4 手荷物ハンドリング（到着）				4 手荷物ハンドリングⅡ（到着）
	5 フライトハンドリング				5 フライトハンドリングⅡ
	6 フライトハンドリング				6 フライトハンドリングⅡ
	7 グラウンドスタッフ基礎Ⅰ				7 グラウンドスタッフ応用Ⅰ
	8 グラウンドスタッフ基礎Ⅱ				8 グラウンドスタッフ応用Ⅱ
	9 空港ハンドリング業務体験・前期				9 空港ハンドリング業務体験・後期
	10 LCC 旅客業務体験				10 国内線出発ゲート
	11 INT 手荷物搭載				11 国際線出発業務見学
	12 DOM 手荷物搭載				12 TT車（トーイングトラクター）乗車
	13 エアポートハンドリング・前期確認テスト				13 エアポートハンドリング・後期確認テスト
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験60%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・ビジネス論		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験：有・無	実務経験内容：		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・航空産業の歴史を学び、どのような変化を遂げ現在の航空業界に至ったのかを理解する。 ・航空産業に関わる企業の戦略や商品、人材確保・育成について、日々のニュースから学ぶ。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 航空産業の変化の理解と、今後の戦略を発送できる。 ② 商品（プロダクト）とは何かを理解する。（CA・GS・GH） ③ 学んだ内容について、自身の考えを発表する。 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）			
	2 航空産業の事業特性（航空産業に特有な商品特性）			
	3 航空の自由化と規制緩和の流れ（国際航空体制の確立）			
	4 航空の安全と保安（安全の概念と理解/企業の取り組み）			
	5 顧客満足（CS と ES）			
	6 航空産業のグローバル人材マネジメント戦略（人材の養成、少子高齢化への対応）			
	7 貨物関連のサービス（保税倉庫/輸出入）			
	8 前半の振り返り（個々の考えや意見を発表）			
	9 企業戦略Ⅰ（エアラインの商品/各企業の特徴） ニューストピック			
	10 企業戦略Ⅱ（LCC と FSC/ブランド商品開発） ニューストピック			
	11 企業戦略Ⅲ（航空の環境変化と今後の課題） ニューストピック			
	12 航空産業の課題と将来展望			
	13 全体の振り返りと将来展望の発表			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン受験対策		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：須田 礼美			
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：成田空港内VIP専用ラウンジ勤務・外資系航空会社客室乗務員		
授業概要	航空業界への就職に向け、その採用試験に必要な知識とスキルを体系的に学びます。 客室乗務員・地上職員・空港職員などの採用プロセスを理解し、具体的に対策していきます。			
到達目標	就職活動の軸となる「自己分析」と「企業研究」の重要性を理解し各自が適時進められるようになる。 人から見られる事や緊張することに慣れ、面接試験本番においてより適切な第一印象を残せるようになる。			
検定資格	なし・必修・〇任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 オリエンテーションと就職活動の基礎			
	2 自己分析（1） テクニカルスキルとアビリティ			
	3 自己分析（2） キャリアゴールの設定			
	4 履歴書とエントリーシートの基本			
	5 第一印象の重要性（1） メラビアンの法則			
	6 第一印象の重要性（2） 自己紹介を自己PRにアップグレード			
	7 業界研究 グループワーク（情報収集・同業他社との比較・プレゼンテーション）			
	8 志望企業の分析 「企業理念・ビジョン」と「自身の価値観」を結びつける			
	9 演習：面接対策（1） 面接の流れと基本的な質問への答え方（STARメソッド）			
	10 演習：面接対策（2） グループディスカッション（自分の役割を見つける）			
	11 演習：面接対策（3） ペアワーク（フラッシュカードで質疑応答練習）			
	12 演習：面接対策（4） 個人面接とフィードバック			
	13 演習：面接対策（5） 個人面接とフィードバック			
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 A B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 B C：評価試験70%以上、出席率60%以上、平常点 C D：評価試験70%未満、出席率60%未満、平常点 D			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ホスピタリティ		科目区分	専門科目
対象	昼間部 観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科 全コース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：黒坂 明子			
	実務経験：☑	無	客室乗務員	
授業概要	ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え相手を慮る心」です。ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を感じよく表現できる人材の育成を目的とします。心理学の知見を応用し行動変容の重要性を学び、自己肯定感を高めることからスタートします。様々なワークを通し、おもてなしの実例に触れながら共に考え、ITHの教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。			
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りからみられている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にすることができるようになる			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック (ホロス人材開発研究所・高畑吉宏)			
授業計画	1 オリエンテーション・・・ホスピタリティとは・定義とゴールの確認、自分自身のフィードバック			
	2 ホスピタリティマインドの理解・・・ホスピタリティマインドとおもてなしの心			
	3 自己理解・自己受容・・・まずは自分を知ろう 心理学による自己分析			
	4 自己理解・自己受容・・・人との関わり方において強み弱みに気づき、自己改善に繋げる			
	5 ホスピタリティの確立・・・自己肯定感を高める プラス思考とプラスの視点			
	6 他者理解・他者受容・・・価値観とは グループ討議			
	7 他者理解・他者受容・・・自分や他者のものの見方や考え方の違いを知る			
	8 ホスピタリティの発揮・・・印象ゲーム 他者目線からの自分のイメージを知る			
	9 ホスピタリティの発揮・・・自画像と他画像の違い 第一印象の重要性 心の4つの窓			
	10 豊かな触れ合い・・・ストロークとは 心の栄養物			
	11 豊かな触れ合い・・・人との交流に欠かせないプラスのストローク			
	12 ホスピタリティサービスの本質・・・モノ的なサービスとヒト的なサービス CSとお客様の心理			
	13 ホスピタリティ企業のおもてなしから・・・「おもてなしの心」を「形」に・・・			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 A B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 B C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 C D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 D			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	カーゴハンドリング実務			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	講義
実施期	1 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：26 時間
担当	講師名：逢坂 理恵				
	実務経験：有・無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出・輸入業務ならびに教育担当の実務経験あり。Diploma 基礎、危険物教育インストラクターの資格あり。			
授業概要	私たちの身の回りで使用する日用品をはじめ、自動車、動物、精密機械など、あらゆる貨物が航空機で運ばれています。この講座では、航空貨物に関する実際の業務内容について学び、物流の重要性や面白さ、航空輸送の意義や仕組みを幅広く学んでいきます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・航空貨物に関する実際の業務内容を理解する。 ・航空輸送の必要性や役割を理解し、物流の魅力や面白さを学ぶ。 ・航空業界に携わる上での安全意識を醸成する。 				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	講師作成教材				
授業計画	1. オリエンテーション、前期の復習				
	2. 危険物貨物の基礎、医薬品				
	3. 輸出業務実務（重量分散など）				
	4. 航空貨物運賃計算（前半）				
	5. 航空貨物運賃計算（後半）				
	6. 上屋での作業				
	7. 上屋での作業実務（フォークリフト、受託チェックなど）				
	8. 上屋での作業実務（タイダウン、ネッティングなど）				
	9. 物流に関するトピックス、ニュース①				
	10. 物流に関するトピックス、ニュース②				
	11. 物流に関するトピックス、ニュース③				
	12. まとめ、試験対策問題				
	13. 試験返却、フィードバック				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 59%以下、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	カウンター実技	科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース	授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位
担当	講師名：松本 多英美		
	実務経験：有・無	実務経験内容：外資系航空会社の客室乗務員としての実務経験あり	
授業概要	空港のグランドスタッフとして働くための接客技術を基礎から学びます。カウンター設備を使用したロールプレイを中心に、チェックイン業務と搭乗ゲート業務の流れと動作を習得します。後半はキャビンアテンダントコースとの合同授業となり、11月の中村学園祭で発表するシミュレーションフライトに向けて、繰り返し練習を行います。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・空港での接客にふさわしい所作と言葉遣いを習得する。 ・チェックイン業務の基本動作を習得する。 ・搭乗ゲート業務の基本動作を習得する。 		
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：		
教科書 教材	スカーフ（女性） プリント配布		
授業計画	1 表情・姿勢・お辞儀の習得 スカーフの結び方		
	2 発声練習 チェックイン業務のセリフ台本読み合わせ		
	3 発声練習 チェックイン業務の実践練習①		
	4 発声練習 チェックイン業務の実践練習②		
	5 発声練習 搭乗アナウンスのセリフ台本読み合わせ		
	6 発声練習 搭乗アナウンスの実践練習①		
	7 発声練習 搭乗アナウンスの実践練習②		
	8 発声練習 チェックイン～搭乗アナウンス通し練習		
	9 実技テスト		
	10 シミュレーションフライトの概要確認 チーム分け		
	11 チームごとの準備と練習		
	12 シミュレーションフライト実技評価		
	13 まとめと振り返り		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく		
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可		

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Airport Study		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	各企業ご担当者様			
	実務経験：(有)・無	エアライン企業現役社員が担当		
授業概要	成田国際空港と羽田空港を実際に訪れ、航空関連企業様を見学させていただき、業務内容や現場を知る。成田国際空港と羽田空港でご活躍されている企業様より直接講義、説明、施設見学をしていただくことで、航空業界の現状を直に学ぶ。			
到達目標	航空業界の現状を直に学び、就職活動への意識向上を図る。			
検定資格	なし・必修・〇任意 名称：			
教科書教材	なし			
授業計画	成田国際空港企業訪問①			
	・企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	成田国際空港企業訪問②			
	1社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	2社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	羽田空港企業訪問①			
	1社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	2社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	羽田空港企業訪問②			
	・企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	羽田空港企業訪問③			
	1社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
	2社目：企業様講義（企業概要、業務内容、など） ・職場視察			
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験（理解度）80%以上、出席率100%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）70%以上、出席率80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率60%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率60%未満、平常点不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 集中講座			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 <u>後期</u>	単位数	後期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：日隈 敬子				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：ノースウエスト航空機内通訳、日本航空 LAX グランドスタッフ			
授業概要	文法や語彙を復習する。 問題演習を通じて弱点を見つけ、それを強化する。 時間配分を身に付ける。				
到達目標	各自の最高スコアより 100 点アップ				
検定資格	なし ・ <u>必修</u> ・ 任意 名称： TOEIC				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	1 公式問題集 リスニング Part 1 & 2、スクリプト音読、フレーズの確認				
	2 公式問題集 リスニング Part3&4、スクリプト音読、フレーズの確認				
	3 公式問題集 リーディング Part5&6、音読、フレーズの確認				
	4 公式問題集 リーディング Part7、音読、フレーズの確認				
	5 公式問題集 リーディング Part7、音読、フレーズの確認				
	6 公式問題集 リスニング模試&解答説明				
	7 公式問題集 リーディング模試&解答説明				
	8 公式問題集 リスニング Part 1 & 2、スクリプト音読、フレーズの確認				
	9 公式問題集 リスニング Part3&4、スクリプト音読、フレーズの確認				
	10 公式問題集 リーディング Part5&6、音読、フレーズの確認				
	11 公式問題集 リーディング Part7、音読、フレーズの確認				
	12 模試&解答説明				
	13 弱点強化、フレーズの総復習				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	海外語学留学			科目区分	専門科目	
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース			授業形式	演習	
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 3単位	時間数	後期 : 78時間	
担当	各企業ご担当者様					
	実務経験 : (有) ・ 無					
授業概要	①語学学校で General English コースを受講する。(レベル別) ②海外生活を経験しながら英語コミュニケーションスキルを磨き、異文化を理解する。 ③6月に受験する第1回目の TOEIC から、9月受験の第2回目に向けてスコアアップを目指す。					
到達目標	①完璧な英語でなくても、積極的にコミュニケーションをとることが出来る。 ②異文化に対してオープンマインドである。 ③TOEIC を 100 点以上スコアアップさせる。					
検定資格	なし・ 必修 ・ ○任意 名称 :					
教科書 教材	現地語学学校指定教材					
授業計画	Level 1-9 Beginner English to University Proficient English Beginner to High-Intermediate students start with General English before moving on to more advanced courses. Through the Cambridge Communicative Method, students develop all 4 language skills (speaking, listening, reading and writing).					
		Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	8:30-11:10	Principal Course				
	Break 30 minutes					
	11:40-13:00	Principal Course	Elective Course	Principal Course	Elective Course	Principal Course
	Break 20 minutes					
	13:20-14:40	Power English	Power English	Power English	Power English	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく					
成績評価 基準	A : 評価試験 (理解度) 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B : 評価試験 (理解度) 70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C : 評価試験 (理解度) 60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D : 評価試験 (理解度) 60%未満、出席率 60%未満、平常点不可					